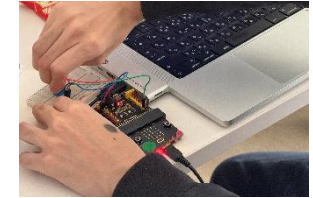


ハッカソン概要

日程: 2025年2月22日(土)-23日(日) ※ハッカソンに先立ち、ハンズオン講習会を 1/25(土)-26(日)に実施。
会場: 名古屋文理大学
主催: Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS 愛知運営委員会
共催: 名古屋文理大学
後援: 稲沢市、愛知県、総務省東海総合通信局、稲沢シーエーティーヴィ株式会社
概要: センサーやモーターなどをWeb標準技術から制御する方法等、講習会で学習した知識や技能を活かして「IoTでつくる交通のミライ」をテーマにしたハッカソンを実施。
参加者: 社会人5名、大学生9名、フリースクール生1名 計15名 (5チームがハッカソン参加)



教材環境

micro:bit
 MakeCode for micro:bit
 Wifiモジュール

最優秀賞: シューズー

(チーム名: ピクルスノリマース)

子どもは公園で遊んでいて親はベンチなどに座っている時、子どもは遊びに夢中になってうっかり親から離れてしまうケースがあります。そんな時に子どもが離れていることを知らせるものがあればと思います。制作しました。

シューズーに動物のワッペンを装着して歩くことで、マイクロビットが加速度を検知し動物の鳴き声を出す仕組みになっています。またスマートフォンとBluetoothを繋ぐことで歩いた際にスマホで歩数、日付、なんのワッペンかを記録することができます。さらに接続が切れた際には子どもと離れていることを親に知らせます。



目的	Society 5.0/Beyond 5G時代に特に必要な標準技術の創発・活用ができる人材に求められる知識・技能のスキルアップの機会とするため、主に初学者を対象に、Web標準技術を用いたIoTシステム開発の実践講習およびハッカソンを実施。標準技術やOSS利活用についての理解向上につなげる。	
使用教材環境	micro:bit、拡張ボード、Wifiモジュールを使い、Web 標準技術を活用した IoT システム開発を実践的に学習できるよう独自教材を作成してハンズオン講習会で使用。	
開催テーマ	「IoTでつくる交通のミライ」	
運営委員会	主査	長谷川 聡 氏 (名古屋文理大学 副学長 兼 情報メディア学部長)
	参画自治体	稲沢市
	参画教育機関	名古屋文理大学、愛知県立大学、愛知県立一宮西江東学校、名古屋市立西陵高等学校、滝中学校
	事務局	Web × IoT メイカーズチャレンジ PLUS 愛知運営委員会 (名古屋文理大学内)
	ハンズオン講習会	ハッカソン
日程	2025年1月25日(土) - 26日(日)	2025年2月22日(土) - 23日(日)
会場	名古屋文理大学	
参加者数	15 名	13 名 5 チーム
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> 座学講習 (標準技術とOSSの基礎) センシングハンズオン講習 ハッカソンに向けてのアイデアワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> チーム毎による作品制作(ソフトウェア/ハードウェア) 成果発表会(作品のデモ) 作品審査および結果発表
講師/審査員	<p>講師</p> <p><u>座学講習</u>: 標準技術やOSS活用の意義 (ビデオ講義) 深見 嘉明 氏 (東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科)</p> <p><u>ハンズオン</u> 講師: 石郷 祐介 氏 (名古屋文理大学 情報メディア学部 情報メディア学科)</p>	<p>審査員</p> <ul style="list-style-type: none"> 清水 夏樹 氏 (フリーランス) 中村 師 氏 (株式会社Kore-nani 代表取締役) 木村 亮介 氏 (名古屋文理大学 健康生活学部 フードビジネス学科 准教授)
表彰	<ul style="list-style-type: none"> 最優秀賞: 作品名「シューズー」(チーム:ピクルスノリマース) <メンバー> 愛知県立大学 1名 / 名古屋文理大学 1名の2名チーム。 特別賞: 作品名「トイレチェックベルト」(チーム:odd-number) <メンバー> 名古屋文理大学 2名 / 社会人 1名 の3名チーム。 	
その他 (地域の特色など)	<ul style="list-style-type: none"> 愛知では2024年度の本開催が初開催。 最優秀賞受賞チームには、東海総合通信局より局長賞を授与。 	